

避難所記録票

記入日： 2018 年 12 月 1 日

避難場所	南神田小学校体育館
避難所環境 (住環境・ 人的環境等)	避難人数は約300人。支援物資が届いており食糧など物はいきわたるようになっているが、人口密度が高く常にざわざわと人が行き来する。柔道クラブが使用する畳が一角に敷かれており、病院で治療を受け退院した怪我人の保護場所として使用している。他の人は床に段ボールや毛布など敷けるもので間に合わせ、腰が痛いという声が聞かれる。 トイレの数が足りていない。避難所の方々の自助努力で清掃、衛生面は比較的保たれている。50代前後の方が多い印象。ボランティア有。
ADLの 現況や変化	現在のところ目立った変化は見られない。骨折の後遺症で杖歩行しており、今後の筋力低下の進行が心配である。寝心地の悪さから睡眠が十分に取れていない。
親族との交信	本人は身寄りなし。他界した夫の妹家族が〇市から先日来てくれた。
伝える事項	血圧の薬の残量。自宅にもまだ残っているか確認。
その他 (気づいたこと や要望など)	近隣の方の声掛けにより非難。自治会の人や近隣の顔見知りもいて、環境には若干慣れてはきているものの、疲れは出ている。夜の冷えが最も辛いとのこと。